

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2016年 6月 24日

| | | | |
|--|----------|---------------|---------------------------|
| 東京大学での所属学部・研究科等: | 人文社会系研究科 | 学年(プログラム開始時): | 修士1 |
| 参加プログラム: | 全学交換留学 | 派遣先大学: | University College London |
| 卒業・修了後の就職(希望)先: | | | |
| ()1.研究職 ()2.専門職(医師・法曹・会計士等) ()3.公務員 ()4.非営利団体 (○)5.民間企業(業界:) ()6.起業 ()7.その他() | | | |

| | | | | | |
|---|------------------------|-------|-------|---------|----------|
| 派遣先大学の概要 | | | | | |
| UCL(University College London)は、ロンドン大学(University of London)を構成する、イギリスを代表する研究志向の総合大学であり、ロンドン最大の高等教育機関である。UCLは、QS World University Rankingsにおいて、2007年以降、常に世界のトップ10以上の評価を受けている。現在までUCLは卒業生、教員、創立者から計29人のノーベル賞受賞者と3人のフィールズ賞受賞者を輩出している。 | | | | | |
| 留学した動機 | | | | | |
| UCLはイギリスでトップの大学であるため、質の高い教育が期待できると同時に、ロンドンに長期間滞在する経験は今後得難い貴重な体験になるから。 | | | | | |
| 留学の時期など | | | | | |
| ①留学前の本学での修学状況: | 2015年 | 修士1 | 年生の | A2 | 学期まで履修 |
| ②留学中の学籍: | 留学 | | | | |
| ③留学期間等: | 2016年 | 1月～ | 2016年 | 6月 | |
| | 修士1 | 年時に出発 | | | |
| ④留学後の授業履修: | 2016年 | 修士2 | 年生の | A1 | 学期から履修開始 |
| ⑤就職活動の時期: | 2016年 | 修士2 | 年生の | 4月頃に | |
| ⑥本学での単位数: | 留学前の取得単位 | | 20 | 単位 | |
| | 留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位 | | 未定 | 単位 | |
| | 留学後の取得(予定)単位 | | 10 | 単位 | |
| ⑦入学・卒業/修了(予定)時期: | 2015年 | 4月入学 | 2017年 | 3月卒業/修了 | |
| ⑧本学入学から卒業/修了までの期間: | 2年 | | 0ヶ月間 | | |
| ⑨留学時期を決めた理由: | | | | | |
| この時期が、最速で留学できる時期であったため。 | | | | | |
| 留学の準備 | | | | | |
| ①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど) | | | | | |

手続きは英語で行えるため、特に困難などはない。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

6ヶ月未満の滞在の場合ビザを申請する必要はないが、自身の実情に合わせてビザを取得しても良いと思う。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

イギリスは先進国であり衛生的であり、特段の予防接種は必要ない。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東大指定のものに加入した。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

特段思い当たらない。4学期制が功を奏し、留学が試験等に差し支えることはなかった。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

イギリスは英語が公用語であり、特段の準備は必要なかった。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

イギリスでは基本的になんでも手に入るため、よっぽどの日本食好きでなければ特に持参すべきものなどはない。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

| 授業科目名 | 単位数 | 単位認定の申請 | 授業科目名 | 単位数 | 単位認定の申請 |
|-------------------------------|-----|---------|-------|-----|---------|
| International Capital Markets | | | | | |
| New Venture Analytics | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

| |
|--|
| <p>各授業ともに毎週大量のReading Materialが配布されるため、予習が欠かせない。また課題も多く、一つの講義が日本の3講義分くらいの学習量のように感じられた。</p> |
| <p>③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など</p> |
| <p>先に述べたように課題が多いため、週あたりの学習時間は50時間程度である。</p> |
| <p>④学習・研究面でのアドバイス</p> |
| <p>大量の読書量に圧倒されない精神的な強さが必要であるが、タフな精神を持ち、グローバルな環境でのグループワークに辟易しなければ、履修はそれほど困難ではない。</p> |
| <p>⑤語学面での苦勞・アドバイス等</p> |
| <p>日本人はアメリカ英語を話しがちであるが、ロンドンでは慎重に語彙を選び、イギリス英語を話す必要がある。あらかじめこの点の差異について調べておく必要がある。</p> |
| <p>生活について</p> |
| <p>①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)</p> |
| <p>UCLのハウジングオフィスの斡旋により学生寮に入寮した。家賃は各寮によって大きく異なるので各自で調べられたい。</p> |
| <p>②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)</p> |
| <p>気候は言うまでもなく曇りのち雨である。交通機関は各人の経済状況に依存するが、徒歩、バス、Uber、地下鉄が一般的である。銀行口座を開設すると良いと思うが、6ヶ月程度の滞在では銀行口座の開設が非常に困難であるので、頑張って銀行担当者と交渉すべきである。</p> |
| <p>③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)</p> |
| <p>ロンドン以外の欧州大都市と比較すると安全であると言える。医療機関は、日系病院を利用するのが良いが、NHSという公的な医療機関を受診することもできる。NHSは無料であり、移民でも利用できるため、待ち時間が長く、Brexitの火種につながるものである。</p> |
| <p>④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)</p> |
| <p>・毎月の生活費とその内訳</p> |
| <p>生活費は、どのような生活を送るかによって全く異なるため、ここに記述することはできない。£2000程度を目安と考えると良いと思う。</p> |
| <p>・留学に要した費用総額とその内訳</p> |
| <p>航空運賃と上記の毎月の生活費から概算していただきたい。</p> |
| <p>⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)</p> |

| |
|--|
| <p>JASSOのものを受給した。</p> |
| <p>⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)</p> |
| <p>余暇の時間は読書などに費やした。</p> |
| <p>派遣先大学の環境について</p> |
| <p>①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)</p> |
| <p>特にサポートを受ける必要はなかった。</p> |
| <p>②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)</p> |
| <p>図書館は24時間稼働している。PCはWindowsである。</p> |
| <p>留学と就職活動について</p> |
| <p>①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど</p> |
| <p>就職活動をする時期に日本にいなかったため、デメリットは大きかったかもしれない。考えようによっては、留学生枠を設けている企業とそうでない企業の見極めができるので良いかもしれない。</p> |
| <p>②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響</p> |
| <p>③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)</p> |
| <p>就職活動が心配な場合は留学しない方が良いだろう。</p> |
| <p>④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください</p> |
| <p>()1.研究職 ()2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) ()3.公的機関(機関名:) ()4.非営利団体(団体名又は分野:) ()5.民間企業(企業名又は業界:) ()6.起業(分野:) ()7.その他()</p> |
| <p>留学を振り返って</p> |
| <p>①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感</p> |
| <p>外国に長期間滞在することで、旅行では得られない知見が得られた。語学で特に苦労することはなかったが、日本語を話す機会がほとんどなかったため、日本語力が低下したことは否めない。半年間の留学は、中途半端な長さだと思うこともあるが、それでも全く行かないよりは良いと思う。</p> |
| <p>②留学後の予定</p> |

修士論文の執筆

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

留学は日本を相対化する良いきっかけになると思います。特に日本が豊かな先進国とはもはや言えない状況であることを実感できると思います。この経験は、将来盲目的に日本に住み続けて良いのか考えるきっかけにつながるかもしれません。留学で失うものもあるかもしれませんが、それ以上に得るものが多い体験だと思います。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

特にない

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

特にない